
2015年度 通期

決算説明資料



2016年 5月13日

2015年度 通期業績

■ 通期連結業績	4
■ セグメント別売上高・経常利益	5
■ セグメント別業績内訳	6
■ 連結貸借対照表	9
■ キャッシュ・フローの状況	10
■ 設備投資・減価償却費	11

2016年度 通期業績予想

■ 通期連結業績（予想）	13
■ セグメント別売上高・経常利益（予想）	14
■ 年間配当（予想）	15

注 記 事 項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2015年度 通期業績

2015年度 通期連結業績



(単位：億円)

	2014年度	2015年度	前年同期比増減 (率)
売上高	6,605	6,606	+ 1 (100.0%)
営業利益	361	395	+ 34 (109.4%)
(営業外損益)	(20)	(▲44)	▲ 65 (-)
経常利益	382	351	▲ 31 (91.9%)
(特別損益)	(▲13)	(10)	+ 23 (-)
親会社株主に帰属する 当期純利益	207	201	▲ 6 (97.3%)
有利子負債	1,549	1,578	+ 29 (101.9%)
自己資本	2,264	2,347	+ 84 (103.7%)
総資産	5,476	5,758	+ 282 (105.1%)
経常利益率	5.8%	5.3%	
R O E	9.6%	8.7%	
E P S	105.75円	102.73円	
自己資本比率	41.3%	40.8%	
ネットD/Eレシオ	0.58	0.57	

2015年度 セグメント別売上高・経常利益



(単位:億円)

		2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高・利益増減要因
産業ガス関連	売上高	2,031	1,948	96%	<ul style="list-style-type: none"> ●オンサイトが、高炉減産の影響により販売数量減 ●化学、造船、電子部品等で顧客操業度向上し、エアセパ中心に回復 ●電気料金燃調分緩和なるも、ガス価格適正化の取り組み継続
	経常利益	127	142	112%	
ケミカル関連	売上高	1,026	870	85%	<ul style="list-style-type: none"> ●持分法適用会社シーケムは、タール蒸留事業で、世界的需要悪化、市況低迷に加え、中国子会社の株式減損処理を行い、極めて厳しい状況 ●第1四半期より川崎化成工業が連結
	経常利益	25	▲49	-	
医療関連	売上高	1,183	1,245	105%	<ul style="list-style-type: none"> ●医療用ガスは、医療用酸素での新規病院獲得等により数量増加 ●医療サービスは受託滅菌の受注拡大 ●在宅医療は新製品レンタル数拡大と値上げで利益貢献
	経常利益	76	87	114%	
エネルギー関連	売上高	528	464	88%	<ul style="list-style-type: none"> ●輸入価格下落影響を大きく受けるも、あらゆる顧客層で新規獲得と増販施策を推進し、数量増加
	経常利益	32	36	113%	
農業・食品関連	売上高	714	916	128%	<ul style="list-style-type: none"> ●ハム・デリカは原料高、為替影響を新製品投入や拡販でカバー ●農産・加工事業が、青果流通、加工ともに順調 ●第2四半期より九州屋、第3四半期より高谷商店が連結
	経常利益	21	30	143%	
その他	売上高	1,122	1,164	104%	<ul style="list-style-type: none"> ●暖冬影響により道路融雪塩が減少 ●高級電磁鋼板用ならびにヒーター用マグネシア増販 ●物流事業の荷扱い量増加、軽油値下がりによるコスト低減
	経常利益	80	91	114%	
(調整額)	経常利益	20	14	67%	-
合計	売上高	6,605	6,606	100%	
	経常利益	382	351	92%	

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

<産業ガス関連セグメント>

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高増減要因
ガ ス	1,287	1,194	93%	<ul style="list-style-type: none"> ●最大顧客の高炉減産を受け、オンサイトの酸素・窒素を中心に数量減少 ●地域事業強化策の奏効により、新規顧客獲得が進展 ●半導体向けバルクガスの数量堅調
機 器 ・ 工 事	394	377	96%	●客先大型工事やLNG関連工事低調
情 報 電 子 材 料	350	376	107%	●半導体・電子材料分野で新規顧客獲得により増販
計	2,031	1,948	96%	—

<ケミカル関連セグメント>

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高増減要因
コ ー ル ケ ミ カ ル	923	624	68%	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス精製は、コークス炉ガス処理量減少、ガス価格低下 ●粗ベンゼンが原油価格下落等により価格低下
フ ァ イ ン ケ ミ カ ル	103	90	87%	<ul style="list-style-type: none"> ●精密化学品はキリン類の減販 ●機能化学品は客先需要減少により販売減
川 崎 化 成 工 業	-	156	-	●新規連結
計	1,026	870	85%	—
シーケム(持分益)	0	▲64	—	●ニードルコークスの世界的需要減少と市況悪化、中国子会社の株式減損処理

<医療関連セグメント>

（単位：億円）

	2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高増減要因
医療ガス	93	92	100%	●医療用酸素は、新規病院獲得し数量確保
設備	285	285	100%	●高度医療分野への取り組みにより、受注件数増加
医療サービス	474	482	102%	●受託滅菌の新規獲得 ●エムシーサービスの新規連結
医療機器	37	40	108%	●新生児・小児・周産期関連機器ならびに一酸化窒素製剤アイノフローが堅調
在宅医療	89	93	104%	●酸素濃縮器の新製品効果により好調
その他	205	253	123%	●半田の新規連結 ●歯科領域は、機器の新製品効果で堅調
計	1,183	1,245	105%	—

<エネルギー関連セグメント>

（単位：億円）

	2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高増減要因
LPガス	485	427	88%	●LPガス、灯油とも新規顧客獲得で数量増加なるも、輸入価格下落を受け、販売価格が低下
天然ガス関連ほか	43	36	85%	●天然ガスが販売数量・単価ともに低下
計	528	464	88%	—

<農業・食品関連セグメント>

（単位：億円）

	2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高増減要因
食 品 関 連	158	164	104%	●輸入冷凍野菜の新商品投入、冷凍ケーキの拡販により堅調
農 業 関 連	556	751	135%	●農産・加工事業は、作柄良く青果販売増加、原料野菜の数量確保で加工堅調 ●第2四半期より青果小売の九州屋、第3四半期より仲卸の高谷商店新規連結
計	714	916	128%	—

<その他セグメント>

（単位：億円）

	2014年度	2015年度	前年同期比	主な売上高増減要因
日 本 海 水	238	253	106%	●赤穂バイオマス発電が稼働
タ テ ホ 化 学	91	100	110%	●高級電磁鋼板用ならびにヒーター用マグネシア増販
海 水	329	353	107%	—
物 流	388	400	103%	●食品物流、農産物の荷扱い量増加
そ の 他	405	411	101%	●エアゾール（家庭用品、自動車向け、人体向け）増販
計	1,122	1,164	104%	—

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
総資産	5,476	5,758	282
流動資産	2,254	2,421	168
固定資産	3,223	3,337	114
負債	3,075	3,197	122
流動負債	1,882	1,870	▲12
固定負債	1,193	1,327	134
自己資本	2,264	2,347	84

キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	511	435	▲76
投資キャッシュ・フロー (②)	▲355	▲406	▲52
財務キャッシュ・フロー (③)	▲79	▲81	▲2
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	76	▲53	▲129
現金及び預金等の期末残高	288	236	▲52
フリーキャッシュ・フロー	156	29	▲127

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減
設備投資	320	422	102
減価償却費	252	266	14

2016年度 通期業績予想

2016年度 通期連結業績（予想）

（単位：億円）

	2015年度	2016年度予想	前年比増減（伸び率）	
売上高	6,606	7,000	+ 394	(106.0%)
営業利益	395	425	+ 30	(107.5%)
経常利益	351	420	+ 69	(119.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益	201	230	+ 29	(114.2%)

有利子負債	1,578	1,757	+ 179	(111.3%)
自己資本	2,347	2,540	+ 193	(108.2%)
総資産	5,758	6,150	+ 392	(106.8%)

経常利益率	5.3%	6.0%
ROE	8.7%	9.4%
EPS	102.73円	117.28円
自己資本比率	40.8%	41.3%
ネットD/Eレシオ	0.57	0.60

2016年度 セグメント別 売上高・経常利益（予想）



（単位：億円）

		2015年度		2016年度（予想）		前年同期比	
		実績	利益率	予想	利益率	増減	率
産業ガス関連	売上高	1,948	-	2,050	-	+ 102	105.2%
	経常利益	142	7.3%	152	7.4%	+ 10	106.9%
ケミカル関連	売上高	870	-	830	-	▲ 40	95.4%
	経常利益	▲49	-	4	0.5%	+ 53	—
医療関連	売上高	1,245	-	1,350	-	+ 105	108.4%
	経常利益	87	7.0%	100	7.4%	+ 13	115.4%
エネルギー関連	売上高	464	-	510	-	+ 46	110.0%
	経常利益	36	7.8%	37	7.3%	+ 1	102.9%
農業・食品関連	売上高	916	-	1,010	-	+ 94	110.3%
	経常利益	30	3.3%	32	3.2%	+ 2	106.1%
その他	売上高	1,164	-	1,250	-	+ 86	107.4%
	経常利益	91	7.8%	86	6.9%	▲ 5	94.6%
(調整額)	経常利益	14	-	9	-	▲ 5	66.3%
合計	売上高	6,606	-	7,000	-	+ 394	106.0%
	経常利益	351	5.3%	420	6.0%	+ 69	119.7%

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

配当性向目標：連結純利益の30%

（単位：円）

1株あたり連結純利益および配当金					
	2014年度		2015年度		2016年度 (予想)
1株あたり連結純利益	105.75	➡	102.73	➡	117.28
中間配当金	13.00	➡	14.00	➡	14.00
期末配当金	15.00	➡	14.00	➡	14.00
年間配当金	28.00	➡	28.00	➡	28.00

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。